

内子町

商工会だより

No.1



会長 智浩 武

会員の皆様におかれましては、益々ご健勝のことと存じます。

日頃は、本会の運営に對しまして格別のご支援、ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、商工会は合併後二年目を迎え運営並びに事業も徐々に軌道に乗りつつあり、今後とも更なる地域振興や会員サービスに努めなければならぬものとなっております。特に、今年度においては、会員サービスの一環として商工会報「商工会だより」を発行し情報提供に努めることとしており、その編集につきまして、内子、五十崎、小田地区より各二名の委員を選出していただき、委員長には酒口副会長に就任していただき、この九月号発行となりました。

商工会だよりは、委員会等で協議し、毎年六月・九月・一月の年間三回発行する計画です。

今後とも、会員にとってより良い情報提供に努めてまいりますのでご協力、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

今年度の商工会主要事業

“ゆったリズム内子”

空き家再生モデル提案事業

この事業は、内子町小田地域特産の杉、檜等「おだの木」を活用した空き家再生事業に、バイオマスイネルギー利用や田舎暮らしツール提案も組み合わせるもので、都市部の団塊世代を中心とした滞在型移住希望者を対象に町内に点在する空き家を再生し、将来の定住者増に繋げようとするものです。

小田地域の建築関連業、林業関係者などで作る地域密着型・建築者集団「おだの匠」の技術を集結し、空き家再生の事例拡大を図る

発行・編集：内子町商工会
商工会だより編集委員会
会員数 751名 H20.9.1現在
内子地区 380名
五十崎地区 201名
小田地区 170名

本所
〒791-3301 内子町内子1502
TEL 0893-44-2166 Fax 44-4936
五十崎支所
〒795-0301 内子町五十崎甲1198
TEL 0893-43-1500 Fax 44-4764
小田支所
〒791-3501 内子町小田 81
TEL 0892-52-2144 Fax 52-3256

ことで、地域の技の伝承と地元業者の受注機会を増加させ、地域経済の活性化を目指すこととしております。

JAPANブランド

育成支援事業

昨年度の実績を踏まえ、商品デザイン戦略の一環として、海外へ強く訴求する製品開発を行います。

日本の概念を越えた、より自由な発想で五十崎和紙の魅力を引き出したいと、金属アーティスト、ウルヴィツキ・ガボー氏をフランスから招聘し、デザインと技術の指導を受け、主に和紙に金属箔を施した壁紙等の商品化と昨年の試作品（キューブ・タペストリー）の品質アップを目指します。

地元との和紙を中心とした商品化により、この事業から生まれたブランド「Ja-Gue-Nai」のもと、雇用の場が広がることを目指します。

ネーミング募集

商工会だよりの名称「ネーミング」を募集いたします。
内子らしいネーミングをふるってご応募下さい。

応募要領

○応募方法

はがき又はFAXにて応募下さい。応募には、ネーミング、住所、氏名、年齢、電話番号をご記入下さい。

○応募先

〒791-3301

喜多郡内子町内子1502

内子町商工会

FAX

0893-444-4936

○締切 十一月三十日

○口数 何口でも応募できます。

○賞 採用させていただいた方には、お買い物券、二万円

(分総額)を差し上げます。

○発表 一月号で発表致します。

ご応募お待ちしております

地域活性化に期待



国民生活金融公庫
松山支店
支店長 寺本 隆

七月二十二日付で、大阪の泉佐野支店から参りました。

四国は初めての勤務ですが、内子町は、公庫の友人の出身地ということもあり、私も地名は存じておりました。実際、当地を散策してみても観光資源は豊富で、特産品にあふれる町だと感じました。

往時の木蝋と和紙によって大いに栄えた当時の面影が、よみがえってきて思わず時を忘れそうでした。また、道の駅では、特産品がずらりと並び、多くのお客様で賑わっており、「町おこし」によく取り組んでおられると感心致しました。転勤族の私には、全国各地に友人・知人がおりますが、様々な機会を通じて、内子町のすばらしさを発信し、少しでも地域の活性化のお役に立てればと思っております。

す。

いま、地域に活力を取り戻そうと、全国各地で様々な取組みが行われています。公庫も農工商連携企業立地促進関連などの貸付制度を拡充し、農林水産物、鉱工業品、観光資源等地域資源を取り扱う融資を推進しており、今後も地域活性化に積極的に取り組んでまいります。

さて、今年十月に当公庫は、農林漁業金融公庫、中小企業金融公庫、国際協力銀行との統合により、日本政策金融公庫に移行します。現在の「小企業金融の専門店」としての融資機能は、そのまま新公庫に引き継がれます。加えて、それぞれの専門性をいかして連携し、幅広いサービスを提供してまいります。今後とも商工会の皆様との連携を強め、「地域を愛し、地域から愛される公庫」を目指したいと存じます。

引き続き、ご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



商工会の会費基準が変わりました

二十一年度より新会費

商工会は、合併して二年目を迎えました。合併協議から懸案でありました商工会費基準の統一について、去る五月二十三日の通常総代会で会費に係る規約改正が決定されました。

統一の基準については、昨年度商工会内に設置した「会費検討委員会」で慎重に協議されたもので、その基準は表のとおりです。

統一基準による会費額（以下「新会費」と言う。）につきましては、会員の皆様方に今年度中にお知らせし、新会費は平成二十一年度からの適用となります。

三つの商工会の会費基準の統一のため、地域によっては会費額が増額する、又減額することが現実には発生しますが、商工会は会員の皆様方の加入があつて成り立っている組織であり、会費基準の統一につきまして何とぞご理解を頂き、引き続き会員としてご協力いただきたくともに、ご活用いただきますようお願いいたします。

◎新会費賦課基準

会員区分	均等割	差等割	年額
専従者給与、従業員無し	6,000	0	6,000
専従者給与有り、従業員無し	6,000	2,000	8,000
従業員有り	6,000	4,000	10,000
資本金1,000万円未満の法人	6,000	9,000	15,000
資本金1,000万円以上の法人	6,000	24,000	30,000
上記条件を満たしかつ従業員数21名以上	6,000	44,000	50,000

※ 銀行及び地区外に本社をもつ事業所は 50,000円

部会長挨拶



商業部会
部会長 山田 榮

私が、就任後最初に感じた事は、旧商工会での商いの差、気質の違い、格差、行政の差、日に日に変わる物価、経済等々問題が、山積している中、大変な重責を感じています。

今も昔も時は流れています。昔の事や他人のことを言わず、己の生き残りを賭け努力する。

しかし、個々の店舗では、限界があります。でも、会員相互で助け合い「地産、地消」の精神で買物も会員同士でし合い、人と人との繋がり、地域との繋がりを大事にしてその地域ならではの「商」をする事が、我々に残された道の一つだと思えます。そのためには、会員の「一体化・親睦・努力」を目標にして、役務を全うしていきたいと思います。会員の皆様には更なるご協力をお願いいたします。



工業部会
部会長 木下勝彰

工業部会は、小規模零細（一部伝統工芸品製造）メーカー、個人合わせて約九十事業の集まりです。速い速度で常に変化していく企業環境の中で生き残っていくには、他の商品にない付加価値を高める事やエンドユーザーに至る全てのお客様からの信頼（良い評価）を高め維持する事が必要です。

そこで、日頃個々の事業所で思っていることも、なかなか実践できなかった「我が社のブランド化」を部会活動の中で研究してみようという事で、まず部会員の事業所をお互いに見て廻る「企業視察」を今年度事業の柱として計画しています。このチカバ企業視察研修は、ただ見て廻って終わりではなく、その事業所を訪ねて感じたままの意見書（良かったこと、感激したこと、気になったこと等々（無記名方式）を事業所毎に出し合うくらいまで掘り下げる事ができたらと考えています。少々過激ですが、

事業所各々の「経営者本人が気づかなかつた問題点」が見えてくるかもしれないからです。少し硬くなりましたが会員皆が楽しく集える部会になったら一番ありがたいです。ご協力お願いいたします。

複式簿記講習会のご案内

内子町商工会と青色申告会は、会員企業の自主記帳を進めるため、九月から十月の毎週水曜日に複式簿記の講習会を開催しています。

この講習会は、青色申告会が会員対象にアンケート調査を行った結果、自らの企業の経理事務を自分で行いたいとの意向が多く、また、その重要性を認識された方々へのご要望に応えるため開催するものです。

また、商工会は昨年合併いたしました。また、商工会職員の設置基準により、将来的に職員数が減少することとなるため、今までのように個別の企業へのご支援が難しくなることが予測され、会員自らが経理記帳を行っていた、たくことも目指しております。

毎週水曜日の午後七時から九時までの短時間ではありますが、会員のスキルアップと自主記帳に繋がることを期待致しております。

さらに、記帳の効率化のためパソコンを活用した経理処理を進めるため、国が推奨している「ネット記帳」や青色申告会が進めている「ブルーリターンA」の活用等の講習会も実施することとしております。

いずれの講習会も実費程度の低料金で受講できます。

なお、開催のご案内は、随時行う事としておりますので、お気軽に受講してください。

講習内容

- ・ 仕訳
- ・ 資産、負債
- ・ 資本、費用
- ・ 減価償却
- ・ 棚卸
- ・ 消費税
- ・ 税務の留意点



経理の記帳はパソコンで

青年部だより

小田「城の台公園」で イベント企画中

青年部組織も商工会合併に伴い「内子町商工会青年部」として再編しており、合併後もそれぞれの地域に貢献する組織として活動するため支部方式をとっております。しかし、合併当初から青年部組織全体での事業を行うことが決定し、青年部内に地域振興事業委員会を設置し、役員ともどもその方向について協議してきたところで

す。

その結果、十一月九日(日)に小田の城の台公園において、子どもや家族連れに楽しんでいただけるイベントを実施する事となりました。

内容は、ミニSLへの乗車や乗馬体験、鬼ごっこ大会等の他、木に親しむコーナーや各種のゲームコーナー、ハンバーガー、フライドポテト等のファーストフード、たらいうどん、たこやき等のバザーも行います。多数のご来場をお待ちしております。

内子支部より

今年度も折り返し地点を迎え、我が青年部の活動も一段落といったところですよ。四月の大お花見会「桜まつり」は三百人を超す参加者を迎え、七月の「うちこ夏祭り」は笹祭りに負けないほど盛大なお祭りになりました。この半年間、全員で力を合わせ企画・準備・実行し、子供から大人まで、地域の皆様に心から喜んでいただけた実感し、満足しております。五十崎・小田両支部、そしてご協力頂いたすべての方々、本当にありがとうございました。

(支部長 大西啓介)



好評のピタゴラ装置Ⅲ 青年部内子支部製作

五十崎支部より

少人数ながら私たちは、「今の子供たちが、将来五十崎(内子)に残ってくれるような町(商店街)にしたい」との思いで、青年部事業に取り組み、地域関連団体の事業(いかざき大凧合戦・元気わくわく川まつり等)に参加し、地域の活性化をめざしています。

今後の予定として、
①親子ボランティアソフトボール大会 (十月五日)

②講演会 (十一月後半)

講師 元屋地文明氏 カードイナル(株) 内子・小田の青年部及び建設部会(共催予定)に呼びかけ予定
自らの行動力で、地域とつながり、盛り上げていきたいと思えます。

(支部長 宮岡志学)



地域の清掃も青年部活動で～す

小田支部より

私たち商工会青年部小田支部では、毎年七月末の土曜日の燈籠まつりに協賛イベントとして女性部と一緒に伊予銀行の駐車場では、バザーを行っています。

今年の燈籠まつりにおいても、生ビールや缶ビール、ジュース、ラムネ、おつまみセット、フライドポテト、唐揚げなどの販売を行い来場者から好評を得ています。



燈籠祭りのメイン：絵燈籠

燈籠まつりは燈籠を川に流す幻想的な祭ですのでご来場をお待ちしております。そして、バザーにもお立ち寄り下さいサービスマスターです。

(支部長代行 後藤克幸)

女性部だより

内子支部より

内子支部の主な活動は色々なイベントに参加して、地域の活性化と会員の友好、研鑽を深めていることです。ただ独自の商品がない事にいつも悩まされてきました。

昨年末、京都木津川市加茂町の商工会女性部を訪ね「女性の創業等支援助成金」等を受けて、従来より取り組まれてきた「加茂のお茶女」づくり、またチャレンジショップを機に始めた「エコバッグ事業」等々、常に意欲をもちながら取り組むものを部員全員で作り上げてきた過程について研修しました。地域との更なる交流や事業の発展的展開の方法、部員の協力体制



加茂町女性部との研修

の強化法など、お互いに熱の入った意見交換もでき、親交を深めるべく大きな成果が得られました。

また、大学生にイベントの場を提供し商店街の活性化を行っている街や「京都の物なら何でもあるよ」とばかりに、狭い通りに凝縮され溢れんばかりのアイテム数に圧倒される伝統ある商店街など、時間との戦いと思える中身の濃い研修ができました。

私達が学んだ事は芽が出はじめたばかりですが、必ず実らせるべく頑張っているところです。

(副支部長 幸田寿美子)

五十崎支部より

女性部は、三支部の相互理解を目的として、各支部が企画する交流会を昨年は内子、今年は五十崎で行いました。

六月四日、手漉き和紙を使用した折り紙行灯つくりと、酒蔵見学、和紙工場見学。食後のお菓子に授産施設「かいと」のお菓子を用意し、施設の紹介させて頂きました。

去年から、顔を合わすと、どうする？と相談を重ね、体験型交流を企画しました。折り紙行灯つくりは部員の予行練習もし、会場・弁当・コーヒー・お茶の準備。和紙のランチョンマット・箸袋まで



和紙であんどん作り

手作りで、内子・小田の方々に楽しんで頂けるだろうかと心配しながらの準備でした。

皆様から良かったよ、のお声を頂いたときホッと、またこれをきっかけに、親しく話が出来るようになり、またそれ以上に自分たちが楽しませて頂いた交流でもありました。そして、部員外の強力サポーター四名の方との出会いも、もう一つの嬉しいことでした。

(支部長 成田幸子)

小田支部より

昨年の合併以来、内子・五十崎の女性部の皆様との交流の輪が広がり、仲間が沢山増えた事、私達は本当にうれしいです。

さて、小田支部も秋に向けて各行事が沢山予定されていますが、今回「工房「夢ふうせん」」をご紹介

介させて頂きます。

前回の「柿渋染め体験」に引き続き念願であった部員全員での「第二回ストール作り」染め物への理解も深まり、大変有意義でした。販路も広がり、また九月一日発売の四国エリア内JR誌に「ストール」が掲載されています。

十三年の時を経て、寺井グループ長のもと、日々前進していく工房「夢ふうせん」をどうか宜しくお願いいたします。

西岡部長はじめ十一名の支部役員のご協力を得て部員「小田四十七士」は、フル稼働しています。

人が集まれば笑顔が広がる。人間関係が希薄な今こそ女性部に寄せられる期待は大きい。

部員とのコミュニケーションを第一に、これからも地域へ発信し続ける女性部を目指します。

(支部長 小田悦子)



部員対象草木染め体験教室

会員企業の紹介

“皆さんこんにちは

このコーナーは町内で頑張っておられるお店や企業を紹介するコーナーです。

これからも色々なお店を紹介させていただきます。”

・第一回で紹介するのは・内子座横で菓子店をされている大本製菓店の大本健さんです。

皆さんも内子座へ来られた時など大本製菓さんをご存じの方が多いと思います。



大本健さんは七十六歳・中山町生まれ、昭和二十四年、長浜の和菓子店「つぶいえ」で修行され昭和三十一年に今のお店を持たれたそうです。

その頃は内子の町にも多くのお菓子店があり、それぞれに切磋琢磨。

「朝早くからのあんづくりから始まり、一日中一生懸命お菓子をつくったよ」と、懐かしく当時のお話をしていただきました。

お菓子も季節ごとの和菓子をはじめ、結婚式の引き出物の受注が多く「鶴・亀」のおめでたい生菓子づくりが大変お忙しかったそうです。

当時の生菓子の木型は今でも大切に残しているそうです。

「今は嗜好が変わってしまっとなあ・・・」とおっしゃる大本さんですが、長年の食品衛生協会等への功労に対して、平成十六年に「厚生労働大臣賞」を受賞されました。

店内には大本さん自慢の和菓子が、たくさん並んでいます。

「食べてみんかい！」と出して下さったおまんじゅうは、小豆あんの懐かしい味や、栗の香りのおまんじゅうなど、ホッとするおいしさでした。



大本さん手作りの和菓子

それからもう一つ人気の商品があります。

それはバタークリームのロールケーキです。(私も大ファンの一人です。)バタークリームのため夏場はお休みだそうです。このロールケーキも絶品!!「松山からも買いにきてもらうんよ。」とおっしゃるとおり、多くのファンを持っているそうです。

「今は自分の体に合わせてゆつくりやつとるよ。」と笑顔の大本さん。

お店売り担当の奥様と二人三脚で頑張っておられます。

“どうかこれからもお二人仲良く、おいしい内子の味を私達に届けて下さい”

八月二十日取材

(米田・平田)

各種印刷承ります

商工会では、会員企業やイベント等で使用するのぼりやポスターが製作できる大型プリンターを設置しました。

これは、のぼり等が迅速に作成でき、個店の経費節減にも繋がることから、商業部会等より購入の要望を受け、理事会承認を得て七月に設置したものです。

このプリンターは、商工会本所に設置し、管理運営については、青年部内子支部が行い、会員の皆様の注文に応じ安価でお好みの「のぼり」や「ポスター」の製作をお受けいたしますのでお気軽にご相談下さい。

★製作サイズ及び価格

・のぼり	1800mm×600mm	価格	一枚	2,800円
	1800mm×450mm			
	1800mm×300mm			
・ポスター	A1サイズ	価格	一枚	350円から
	841mm×594mm			

**商工会100万会員
ネットワークの案内**

全国商工会連合会では、全国の100万会員を対象としたネットワークを構築しました。

このネットワークは、会員事業者の目線を意識したもので、商工会員の情報を掲示することにより、企業や商品等の宣伝、取引に繋がる人脈作り、仕事に役立つ情報収集等に役立てていただこうというものです。

同ネットワークに登録した情報は、商工会だけでなく県内及び全国にも連携表示されます。

商工会員の方の利用並びに情報登録は無料なうえ、誰でも簡単に自社ホームページが作成できるものです。

商工会では、このネットワークへの参加をお勧めいたしますが、情報登録及び更新は会員自ら行うていただく事を基本といたします。そのため、同ネットワークの使用方法等についての説明会も予定しておりますので、ご希望の方は、商工会本所又は、支所までご連絡下さい。

**外国人雇用状況の届出は、
雇用事業主の義務です！**

雇用対策法及び地域雇用開発促進法の一部が改正され、平成十九年十月一日より、外国人労働者を雇用する事業主の方に対し、外国人労働者の雇用管理の改善及び再就職支援の努力義務が課されるとともに外国人雇用状況の届出が義務化されております。

該当する事業主の方は、外国人労働者（特別永住者及び在留資格「外交」・「公用」の者、研修生を除く）の雇入れまたは離職の際に、当該外国人労働者の氏名、在留資格、在留期間等について確認し、厚生労働大臣（ハローワーク）へ届け出ることが義務付けられています。

届出を怠ったり、虚偽の届出を行った場合には、三十万円以下の罰金の対象となります。



経営上でお悩みの事があれば、商工会へご相談下さい。

次のような相談をお受けしていますので、お気軽にお立寄り又は、お電話を！

- ◆ 経営の相談をしたい。経営に役立つ情報を入手したい。
- ◆ 帳簿のつけ方や決算等について相談したい。
- ◆ 記帳をパソコンでやりたい。
- ◆ 従業員の雇用や労務について相談したい。
- ◆ 労働保険について相談、また、この事務を委託したい。
- ◆ 社会保険について相談したい。
- ◆ 資金繰りについて相談したい。
- ◆ 運転資金や設備資金を借入れたい。
- ◆ パソコン機器や便利なソフト、インターネットを活用したい。
- ◆ 専門家からアドバイスを受けたい。
- ◆ 関係法律について相談したい。
- ◆ 新事業展開や経営革新・事業承継・農工商連携について相談したい。
- ◆ 事業主や従業員のための共済や退職金制度を活用したい。
- ◆ JANコード、リサイクル法、ISO、特許等について相談したい。

国民生活金融公庫の年利率
 経営改善貸付 年2.15%
 教育ローン 年2.65%
 (9月1日現在)

※上記以外の経営上の専門的な案件でも、国、県その他関係機関とのネットワークがありますので、必要な情報の問い合わせや、対応できる機関の連絡先などを可能な限りご紹介します。

内子手しごとの会

展示即売会を開催

昨年十一月、内子町内で様々な技術（鍛冶や木材加工、陶芸等）をもたれた方を構成員とした内子手しごとの会（代表 上隅一郎氏）が発足しています。

現在まで数回の会合が行われ、それぞれの技術の組み合わせによる新しい工芸品等を生み出す目的に向かっています。お互いの技術やレベルを確認するため、展示即売会を次のとおり行います。

- ・開催期間 十月二十五日（土）
～二十六日（日）
- ・開催場所 内子座
- ・テーマ マ 翔
- ・出展企業 十八企業の予定
- ・入場は無料です



是非、この機会に内子町内に受け継がれている技をご覧頂き、それらの評価やコラボレーション等についてご意見をお願いいたします。

政管健保は「協会けんぽ」 に変わります

健康保険（政府管掌健康保険）

については、現在、国（社会保険庁）で運営していますが、平成二十年十月一日からは新たに全国健康保険協会が設立され、協会が運営することとなります。

協会は、非公務員型の法人としての保険者であり、職員は公務員ではなく民間となります。

民間のノウハウを取り入れ、事業主や被保険者のご意見をお聞きしながら、サービス向上や業務改革を進められます。

従前からの被保険者証は順次、新たな被保険者証に切り替えられますが、それまでは、従前の被保険者証が引き続き使用でき、また、医療機関での自己負担等の保険給付の内容も変わりません。詳しくは、次のURLをご覧ください。

<http://www.mhiw.go.jp/>

どぶろく特区に融資

国民生活金融公庫松山支店は、「どぶろく特区」に認定された当町の企業組合「内子ツーリズム」に対して新規企業融資として500万円の融資を実行しました。構造改革特区の規制緩和を活用した企業に対する融資は、同支店で初めてです。

（日経新聞七月十二日より）

職員異動のお知らせ

平成二十年四月一日付けで職員異動がありました。

また、本所・支所間の異動もありませんのでお知らせします。今後ともよろしく願います。

【転出者】

経営指導員 稲井 強
補助員 古都喜久子

【転入者】

経営指導員 高橋 章司
商工会連合会より異動
《本所・支所異動等》
補助員 岡田 文子

小田支所より本所へ異動

《編集後記》

商工会も合併して二年目を迎えました。青年部は、早くからそれぞれの地域イベントに参加、協力し合いながら一つの和を築こうとしています。また、女性部も一年目内子、今年は五十崎で研修という形で体験研修をしながら交流されています。

なかなか一つになって会する事が難しくなっていますが、せっかく合併して一つになったのだから、会員の方々に各地域での活動を紹介したり、会員の為になる情報をお伝えする事により、少しずつでも地域間の絆が深まって行く事を確信しています。

年三回程度の発行を予定していますが、皆様が関心をもって見ていただき、喜んでいただけるよう素晴らしい「商工会だより」を作りたいと思います。どんな情報でも、ご意見でも結構ですので、編集委員、また事務局までご連絡下さい。

よろしく願っています。

編集委員	強子
委員長	陽宏
委員	田政
委員	米平
委員	久保
委員	後藤
委員	井上
委員	越智
委員	井上
委員	高橋
事務局	
事務局	